試作・製造の受託(ファ

大手メーカーによる設計

ンダリーサービス)を利

用できるのが前提で、中

小の技術的可能性を大き

く広げているのが特徴。

ASICはその成果だ。 (西東京・佐藤麻衣子)

を試作した。同コンソで

に設計された集積回路)

ASIC(特定用途向け ーシアムは電源制御用の 東京・多摩の地域コンソ

ステム)の開発を目指す

EMS(微小電気機械シ

(瑞穂町)、セキコーポ

んでいる。

常駐する大手メーカー

の極めて高精度な動作と

ーが常駐するM

コーディネータ

イプセンター EMのプロトタ

多摩地域には

同グループではMEMS

低い生産コストを両立す

るために電圧・電流の変

換制御に特化。回路規模

ーディネーターを介して は参加する中小企業がコ

(第3種郵便物認可)

ΉU 路線バスの車両に自動体 東京都交通局は7日、

を試験的に設置すると発 表した。大手路線バスの

外式除細動器

(AED)

工

AEDを試験設置 11日から都バスに

業

新

者認定制度」。優れた新 産による新事業分野開拓 と の 語 気 律 母 そ 倉 言 し

うおういるのたかし

名称は「新商品の生

製品を開発しながら、営

ると、都が購入契約する 際に、通常の入札制度に

栃木LRT検証県民の会

1駅や都バス19営業所・ 局では、都営地下鉄10 大を検討してきたい」 Dに与える影響などを検 や車内の温度などがAE 証して、さらなる導入拡 (東京都交通局自動車部

るのは全国初という。11 事業者でAEDを導入す | 支所などにAEDを設置 日から運行を始める。 導入路線は「大塚駅―

数は5両。すでに都交通 錦糸町駅間」で、設置台 している。「バスの振動

開拓者として認定を受け 東京都から新事業分野 一造的技術開発助成金」や

の入賞商品と「東京都創 都ベンチャー技術大賞」 ら5年以内の商品。「東京

第カ開子し

則

引財好力 なっている商品。

支援事業」の支援対象と

「認定自体が新商品の一5320・4762)へ。

都産業労働局商工部創業 支援課総合支援係(03: を提言する。佐藤信民主

⊚… 田機械工業 四郎社長、 工場で、 示会(写真

一ると発表した。次世代型

| T)導入の問題点や有効 路面電車システム(LR 性を検証し、公共交通ネ た。

発起人代表には市内在

見の受け皿にするとし し、慎重派と反対派の意 いう声は多い」と強調 ままで本当にいいのかと 画が着々と進む中、この

党栃木県連幹事長は「計 を検証する。07年1月中 が就く。事務局は連合栃 宮市の「新交通システム 木に置く。栃木県と宇都 住の音楽家の浅野薫子氏 に渡河橋を建設した場合 案を受け、市内の鬼怒川 導入課題検討委員会」の との比較や財政負担など

| 車両課) としている。 ステムを考える県民の 検証し新たな公共交通シ 県連は7日、「LRTを 会」を10月28日に発足す一ットワークのあり方など 【宇都宮】民主党栃木 来月28日に設置

レーション(八王子

都大学東京、東京農工大 機システムズ、沖電気下 中小・中堅企業と富士電 市)、菊池製作所などの 業などの大手に加え、首

学などが参画。05年7月 と導いている。 ンダリーサービス利用へ OBらがコーディネータ 費用面で使いづらいファ 言。中小企業単独では、 ーとして各グループに助

> Cを完成させた。 イズに耐えられるASI が大きく、高電圧電源ノ

精度とコスト両立 1年かけASIC完成

クターなどの研究に、5 Sプロトタイプセンタ た八王子市内の「MEM グループに分かれ取り組 に発足し、同時に開設し ー」を拠点に微小光学 信号処理回路、リア 路の担当グループが試作 やデジタル家電で機能制 実装面積が小さく消費電 力が少ないため携帯電話 した。一般にASICは ASICは信号処理回

御用として利用される。

けた。「実証を重ねれ ニーズを沖電気が引き受 は不可能。今回の開発で かかるため、中小単独で ば、太陽光発電などエネ は、中小・中堅の製品化 通常受注価格は数千万円 ハウは大手が提供する。 ルギー分野での普及が期 LSIの設計製造ノウ

「下請け」となりアイデ

企業が集積す

つハイテク中小

細加工技術を持 究所が多く、微 大手の工場・研

大手が中小の る。コンソでは

07年度末までにより多く 業を創出する新しい仕組 マティーエルオーの井深 の成果を挙げたい」とタ なるように、終了予定の みとして象徴的な事例と アを形にする。「地域産

クス(同)、相馬光学

を旗振り役に、エリオニ

ーエルオー(八王子市)

同コンソにはタマティ

出向でグループコーディ 手応えを語る。 ネーターの永井恒夫氏は 待できる性能」。沖電気 末までに、富士電機シス 別のグループは66年度

ンプの試作に取り組む計 テムズのファンダリーサ ビスを利用した微小ポ 丹社長は話している。